

先駆けを！

学校報

望 洋

夢の実現におけて！

東海大学付属市原望洋高等学校

編集：メディアセンター

2016年7月14日 第125号

第13回 サマーコンサートを開催

吹奏楽部

6月19日(日)、松前記念講堂で本校吹奏楽部 第13回 サマーコンサートを開催しました。当日は、ヤン・ヴァン・デル・ローストの「アルセナール」を皮切りに、全8作品を熱演。第2部は、本校吹奏楽部の演奏会では恒例となった「ヒットステージ2016!」を、第3部では吹奏楽部卒業生と現役吹奏楽部員との共演を展開。プログラム最後の曲、「いきものがかり」の「ありがとう」が終わると、会場からは大きな拍手が寄せられました。アンコール曲は「宝島」(真島俊夫 作)。コンサートは盛況のうちに閉じられました。当日お越しいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。12月25日(日)には第15回 定期演奏会を予定しています。多くの方々のご来場を、心よりお待ちしております。



サマーコンサートを終えて

吹奏楽部 Creative Leader 3年4組 齊藤 秀人

先月、私たち3年生にとっては最後のサマーコンサートが終わりました。サマーコンサートを迎えるまでには様々なことがありましたが、演奏会を終えた後のお客様の「良かった!」という言葉や、「感動した!」という声を聞くことができ、本当に良かったと思います。1年生は入学後初めてのサマーコンサート出演となり、とても緊張したと思いますが、よく頑張って演奏してくれました。また、2年生は去年と比べて驚くほど成長していたのが感じられ、嬉しく思いました。最後になりますが、今回のサマーコンサートを開くにあたり、諸先生方、吹奏楽部後援会の方々、吹奏楽部OB・OGの方々、生徒会役員の皆さんなど、他にもたくさんの方々のご協力のもと、無事終えることができたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。



サマーコンサートを終えて

Percussion パート 2年5組 田村 美琴

6月19日に行われた第13回 サマーコンサートにご来場くださった方々、本当にありがとうございました。この演奏会を開くにあたり、協力してくださった先生方、吹奏楽部後援会をはじめとする保護者の方々、OB・OGの先輩方には心より感謝を申し上げます。1年生24名を迎え、新しい体制となった市原望洋高校吹奏楽部の今年度初のステージ。2年生の立場として、先輩たちを支え、後輩たちをリードするには、自分自身がどのように動くべきかを考え、2年生としての自覚と責任をもって行動するように心がけました。これからも部員一同が心をつなげて、夏の吹奏楽コンクールやクリスマスの日に行われる第15回 定期演奏会に向けて、頑張っていきたいと思います。

初めてのサマーコンサートを終えて

Horn パート 1年5組 西川 晶洋

生まれて初めて吹奏楽部に入り、生まれて初めてお客様を目の前にして合奏や合唱、ダンスを行いました。楽器を始めて2か月半、そのうちの半分以上はサマーコンサートに向けての練習でした。このサマーコンサートは自分にとって本当に良い経験となり、最高のスタートを切ることができたと思います。「宝島」を演奏した時のあの一体感や達成感、それに加えてさまざまな思いが一気にこみあげてきました。あの時の感情や思いは、これからの3年間の生活の中で、とても大切にしていきたいと思います。この思いを大切に、今後の練習に活かしていき、コンクールに向けて日々努力していきたいと思います。

ご来場ありがとうございました

吹奏楽部顧問 湯川 千鶴子

この度は第13回 サマーコンサートにご来場いただき、ありがとうございました。また、平素は吹奏楽部の活動にご支援を賜わり、重ねて御礼申し上げます。今年度は24名の1年生が加わり、現在55名の部員と共に活動を進めております。1年生の中には高校入学後に楽器を始めた者もいます。それでも日々練習を重ね、先輩たちのアドバイスを心得、上達しようと努力しています。2・3年生も、今まで以上の表現力をつかみ取ろうと練習に励んでいます。その前向きな姿は顧問として誇りに思います。今回は開催日と夏のコンクールの抽選日が重なり、市内の中学校からバンドをお呼びすることができませんでした。しかし、例年通り多くのOB・OGが集まり、現役生との合同バンドを展開することができました。今後は夏のコンクール、12月の定期演奏会に向けて練習を重ねて参ります。今後とも皆様のご声援を賜わりたく、お願い申し上げます。



芸術鑑賞会（高校生のための歌舞伎鑑賞教室）を実施

1年生



6月16日(木)、1年生を対象にした芸術鑑賞会を実施しました。当日は国立劇場に集合し、「6月歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞しました。ほとんどの生徒が歌舞伎を観るのは初めて。中村萬太郎さんによる解説「歌舞伎のみかた」で歌舞伎の基礎知識を得た上で、「新血屋鋪月雨 一魚屋宗五郎」（二幕 三場）を鑑賞しました。鑑賞前はあまり期待していなかった生徒も、「全然眠くならなかった。」「最後まで面白かった。」「歌舞伎を身近に感じる事ができた。」など、歌舞伎の世界に一歩近づいたようでした。



初めての歌舞伎

1年1組 佐々木 杏奈

私は歌舞伎を見るのが初めてだったので、この鑑賞会の日を楽しみにしていました。あまり見る機会がない伝統芸能を、間近で鑑賞することができて良かったと思いました。鑑賞会の初めに、歌舞伎俳優の中村萬太郎さんによる解説がありました。歌舞伎をよく知らない私たちに分かりやすく丁寧に解説くださり、一層興味が湧きました。舞台では役者さんたちが声を張り、全身を使って演技をしていたので、迫力が感じられました。私が想像していたのとは違い、歌舞伎の世界というのは役者さんたちの想いが詰まっている素晴らしいものでした。今回、歌舞伎を鑑賞するという貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

芸術鑑賞会に参加して

1年6組 海宝 教史

1年生は6月16日に芸術鑑賞会があり、国立劇場で歌舞伎を見ました。歌舞伎は見たことがなかったので興味がありました。劇場は思っていた以上に、舞台や花道と客席が近いと感じました。初めは話の内容が難しそうだと思っていました。しかし、役者さんの表情や効果音の一つひとつによって、歌舞伎を楽しむことができました。今回の芸術鑑賞会で様々なことを学びました。日本の伝統芸能である歌舞伎の表現に、実際に触れることができて良かったと思います。歌舞伎のほかにも日本の文化はたくさんあると思います。これをきっかけにして、多くの日本文化について、学びたいと思いました。

救急教室を実施



7月1日(金)、市原市八幡消防署の救急隊員を招き、保健委員会の生徒と各部活動のマネージャー及び本校新着任の教職員を対象にして、救急教室を実施しました。これは、学校生活の中で万が一の事故や災害が発生した場合に備えて、けが人や病人を医療機関にわたすまでの一次的な応急処置の技術を習得するために、毎年行うものです。当日は、心肺蘇生法、AEDの使用法、回復体位、搬送法、止血法などを実際に体験。救急現場で、人々の命と日々対峙する消防署員の指導のもと、すべての参加者が真剣な眼差しで取り組みました。



「それって“愛”なの？ ～若者のためのDV予防セミナー～」を開催

2年生

7月7日(木)、生徒指導部講話の一環として、2年生を対象に、DV・虐待予防研究会から代表の山中多民子氏を招き、デートDVに関する講話「それって“愛”なの？ ～若者のためのDV予防セミナー～」を開催しました。親密な関係の中で起きる暴力は、決して大人の世界に限られた問題ではありません。若年層でも、相手との親密な関係が成り立つと、相手を様々な形でコントロールする、いわゆる「デートDV」が起こる場合があります。高校生が自分たちにも起こりうる問題として「デートDV」をとらえ、「暴力とは何か」という問題について考えるのは有意義なことです。今回のセミナーでは二つのモデルケースを取り上げ、生徒によるロールプレイを取り入れながら、対等の関係であることの大切さ、尊重する心の大切さについて考えました。



オリンピック教育「オリンピックと政治」を実施

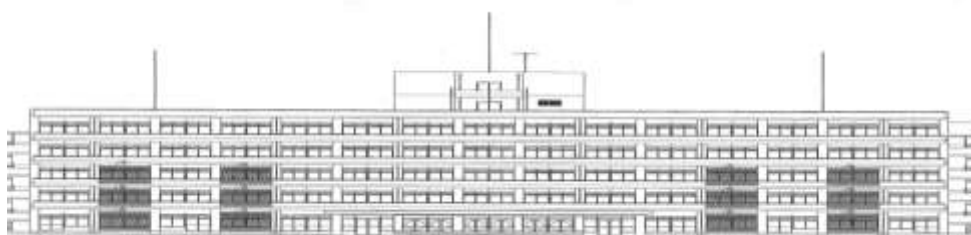


7月8日(金)、幻のモスクワオリンピック女子体操代表で、東海大学体育学部競技スポーツ学科准教授の赤羽綾子氏を招き、オリンピック教育「オリンピックと政治・モスクワオリンピックボイコットを経験して」を行いました。赤羽准教授は、自らが経験した日本のモスクワオリンピックボイコット問題に触れ、オリンピックと政治の負の関係について述べました。また、その不幸な歴史を踏まえた上で、「オリンピックは平和の祭典。だからこそスポーツの側から政治に影響を与えられるのでは」と述べ、「人類の平和運動としてオリンピックは続いて欲しい」というメッセージを投げ掛けました。そして最後に、「挫折があるからこそ今の私がある」と語り、生徒たちに熱いエールを送ってくれました。

校舎のリニューアル工事を開始

3号館校舎・教室棟のリニューアルについて

副校長 小林 潔



本校は、1889年に開校した「女子独立学校」（東京府南豊島郡淀橋町角筈、現在の東京都新宿区西新宿）に始まる、120年以上の歴史ある学校です。3号館校舎については1981年に建設され、すでに35年が経過しています。

今年度は「学校改革」の一環として価値ある変化を求め、様々な取り組みを行っています。この3号館は歴史ある校舎ではありますが、生徒諸君に今まで以上の学習環境を提供し、学習への集中力・学習効率を高めるため、リニューアル工事をを行います。

具体的な工事概況をお話します。まず、校舎の外観は1号館や2号館に合わせ、白を基調とした配色にします。各教室には暖かく柔らかな印象を与える木目調の床、室内を明るくする白い壁、ゴミ箱・掃除用具が収納されたボックス型のロッカーを設置します。また、全学年の机・椅子をすべて新しいものに入れ替えます。廊下には教室よりも落ち着いた色の木目調の床を取り入れ、訪問者や多くの生徒が出入りする職員室は、室内を整備し、教職員の打合せが行いやすい座席配置に転換します。しばらくの間、3号館への立ち入りやスクールバスの利用等に変更が生じますが、ご協力をお願いします。9月には皆さんにお見せできると思います。期待してください。2学期からはより充実した環境のもと、学習や部活動に取り組んでください。

望洋リレーエッセイ(74) 石井勇人 先生

このコーナーでは、今年度着任された本校教職員によるエッセイを掲載します。その第3回は、石井勇人先生です。



この度、市原望洋高校に着任した保健体育科の石井勇人です。東海大学体育学部武道学科を卒業し、昨年度、東海大学大学院体育学研究科を修了しました。私の好きな中国の春秋戦国時代に「士は己を知る者の為に死す」（自分を認めてくれる人のために命を投げ出す覚悟）という成語があります。現代に当てはめると、「支えてくれた人には、必ず恩を返す」と捉えることができます。私の高校生活は柔道で寮生活を送っていました。何度も諦めそうになったことがあります。先生、友人、家族、多くの方々に支えられ、全国大会に向けて努力することができました。それを機に、諦めることの簡単さ、継続することの難しさを学びました。そして、それ以上に成し遂げた時の達成感を学びました。皆さんも何事も失敗を恐れず挑戦してみてください。

連絡板

緊急連絡は望洋通信システムをご利用ください

<今後の行事>

7月	
7月14日(木)	終業式・大掃除・LHR
7月16日(土)	3号館 リニューアル作業開始
7月19日(火)	補習期間開始 (～23)
7月31日(日)	学園オリンピック夏季セミナー (～8/5)
8月	
8月1日(月)	第1回体験入学
8月6日(土)	学園オリンピックスポーツ大会 (～8)
8月27日(土)	第2回体験入学

9月	
9月1日(木)	始業式
9月5日(月)	防災週間 (～9)
9月7日(水)	カウンセリング12
9月21日(水)	カウンセリング13
9月22日(木)	後援会 湘南キャンパス見学会
9月25日(日)	2年生付属高校生のためのオープンキャンパス
9月26日(月)	振替休日 (2年生)
9月28日(水)	カウンセリング14

編集後記 学校報「望洋」125号をお届けします。今号は吹奏楽部のサマーコンサートと1年生の芸術鑑賞会を中心に編みました。夏休みに入ります。次号は9月に発行します。(寿)

